



北海道細胞検査士会会報

年頭のあいさつ

北海道細胞検査士会 会長

札幌徳洲会病院 藤岡 学

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、期待と希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。また、日頃からの皆様のご理解と、ご協力によりコロナ禍の状況ではありますが、スムーズな北海道細胞検査士会運営に微力ながら尽くすことができましたことを深く心から感謝申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルス感染拡大が続き細胞診従事者講習会、北海道細胞検査士会学術講習会「わかばセミナー」、細胞診講習会②の開催中止とするなか、細胞診講習会①は Web 開催を実施することができました。また、第41回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会が、北海道では初めて Web 開催を実施し多くの会員の皆様に参加していただきましたことを、深く感謝申し上げます。各地区会の活動も、勉強会などを Web 開催するなどで、ご尽力いただき感謝申し上げます。また、全国の細胞学会やセミナーなどの Web 開催により、現地に行かなくてもクレジットの取得ができ、多くの講演を聴講できるようになりました。

細胞検査士認定試験を、受験した方々には、2次模擬試験を開催できなかったことが非常に残念であります。そんな中でも14名の方が合格しました。合格された皆様おめでとうございます。

本年もコロナ禍の状況の先行きが見えませんが、役員一同、スムーズな会の運営と会員の皆様にとって充実した1年になりますよう状況を踏まえ活動して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また新たに細胞検査士になられた皆様は、北海道臨床細胞学会への入会申請と北海道細胞検査士会のメーリングリストへの登録を是非お願い致します。

★ メーリングリストへの登録のお願い

会員への情報伝達手段の一つとしてメーリングリストを開設し、北海道臨床細胞学会や北海道細胞検査士会からの情報配信に利用しています。未登録の方々はご参加をお願い致します。

メーリングリストへ登録をして頂ける方は、

- ① メーリングリスト管理者(徳永 y1tokuna@d9.dion.ne.jp)までメールをお願い致します。
【本文】には、所属地区、施設名、お名前を記載してメールの送信をお願い致します。
- ② 管理者が登録をしたら、“登録完了メール”が配信されます。



* 講習会の詳細な内容や申し込み方法等は、北海道細胞検査士会ホームページ又はメーリングリストにて随時ご案内しております。

第54回細胞検査士資格認定試験合格者



古木 ほのか 函館市医師会健診検査センター
加野 大樹 小樽市立病院 太田 千尋 小樽市立病院
長澤 雄太 砂川市立病院 徳永 美沙 JCHO 北海道病院
舘山 ゆう 北海道がんセンター 佐藤 佑香 帯広厚生病院
高橋 栞奈 北海道対がん協会札幌がん検診センター
岸田 佳倫 北海道対がん協会札幌がん検診センター
神 翔陽 旭川厚生病院 北向 美穂 北見赤十字病院
赤川 まい 国立病院機構函館病院 谷柿 貴哉 手稲溪仁会病院
村上 奈緒 北海道対がん協会旭川がん検診センター

(順不同 敬称 略)

🌸🌸🌸 おめでとうございます 🌸🌸🌸

合格者からの一言

「認定試験を終えて」 函館市医師会健診検査センター 古木 ほのか

今年で二度目、今年は二次試験からの挑戦でした。「今年こそは合格しなければ・・・」と思うあまりに試験二日前から直前までめまいと吐き気が止まず、不安でいっぱいでしたが、なんとか無事に合格することができました。試験合格は、決して自分の努力だけでできることではなく、応援してくれる周囲の環境があったからこそ成し得たことだと実感しています。惜しむことなくサポートしてくださった上司や先輩方、標本を見せてくださった他施設の方々のお力添えのおかげです。この場を借りて心より感謝申し上げます。合格は細胞検査士として働くための第一歩であり、まだまだこれからが勉強の連続です。一人前の細胞検査士となれるよう尽力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「認定試験を終えて」 小樽市立病院 加野 大樹

去年2度目の2次試験。慌ててしまいスクリーニング2問ほど全く手も足も出ず、何とか立て直すも結果は予想通り不合格。また1次試験の勉強を始めつつ、今回は『婦人科を制するものは2次試験を制する』と勝手に自分に言い聞かせ、婦人科の標本ばかりスクリーニング。例年開催していただいている2次の模擬試験もない。でもそこで気が付きました。自施設の標本しか見ていないのももちろん去年も見ているわけで。なんでこの細胞にマーキング？なんも悪くないぞ？そんなのがちらほら。なるほど、受からないわけだ。そこから領域を広げて診ていくと、ん？なんか見えるような気がする？根拠のない自信とゲン担ぎで1次試験と全く同じ服装で2次試験会場へ。去年よりはできた、しかしまだ不安。待ちに待ったクリスマス。受かっていました。やっと検査士のスタート地点に立てました。出来の悪い私を指導していただいた先輩スクリーナーをはじめ、模擬試験などでお世話になった検査士会の皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。細胞の世界を楽しめる様、頑張ります。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

「認定試験を終えて」 小樽市立病院 太田 千尋

昨年、一昨年と二次試験で落ち続け、3回目の認定試験でした。一次試験からのスタートだったのどにか一で落ちてはいけないと力を入れすぎてしまったように思います。二次試験対策では標本を見ても見ても足りないのではないかと不安を抱えたまま試験当日を迎えました。非常に本番に弱いタイプなので、とにかく落ち着くことを意識し時間があれば解答用紙の答えとスライド、問題用紙を指さし確認し、ミスの無いよう心がけました。しかし、終わった瞬間はあまりにも手ごたえが無く、さすがにこれではだめだろうと思いましたが三度目の正直で何とか合格することができました。一から細胞診を教えてくださいました先輩方、標本を見せていただいた他施設の皆様、模擬試験を行ってくださった細胞検査士会の皆様に心より感謝申し上げます。ここからがスタートなのでまた気を引き締めて努力していきたいと思ひます。

「認定試験を終えて」 砂川市立病院 長澤 雄太

私は数年前、病理に配属となり、細胞検査士の認定取得の為、日々努力してきました。1次、2次試験の勉強をしていく中で、自分の思うように結果が出ない事、合格への精神的なプレッシャーも重なり、苦しんだ時期もありましたが、多くの方に支えられ、無事合格する事が出来ました。お忙しい中、ご指導いただきました自施設の病理の皆様、勉強会でお世話になった他施設の皆様に感謝申し上げます。今後は、より一層勉強と経験を積み、即戦力として1日でも早く貢献出来るように頑張っていきたいと思ひます。色々とお世話になるかと思ひますが、どうぞ宜しくお願い致します。

「認定試験を終えて」 JCHO 北海道病院 徳永 美沙

昨年から続いている新型コロナウイルスの影響により、試験内容の変更や勉強会のほとんどがオンライン化され、色々な面で不安がありました。一次試験終了後は思ったよりも手応えがなく不安のまま帰宅したことを覚えています。二次試験当日、同定試験から行うはずが、急遽変更となりスクリーニングから行うことになりました。動揺しましたが、意外にも落ち着いて受験することができたと思ひます。秋からの追い込みは体力・精神的にも辛く、もうやりたくないと思ひていたのが合格したときは本当に嬉しく、喜びが溢れました。合格してもここからがまたスタートラインだと思ひますので、日々精進して頑張ります。最後に基礎から多くのことを教えて頂いた当院の先輩方をはじめ、勉強会にも協力して下さった皆様のお力により合格できたと思ひております。心から感謝申し上げます。

「認定試験を終えて」 北海道がんセンター 舘山 ゆう

昨年は2次試験で不合格となり、今年度は2度目の挑戦でした。新型コロナウイルスの影響で模擬試験や講習会がなくなってしまう、自分の実力を確認したり他の受験生と関わったりする機会が少なく、不安に感じることもありました。そんな中、いつもあたたかく指導して下さった職場の皆様や他施設の方々に感謝いたします。今年の合格発表は12月24日と例年より遅く、落ち着かない期間が長かったですが、無事合格することができ良いクリスマスプレゼントとなりました。細胞検査士としてのスタートラインに立ったばかりですので、早く一人前になれるよう日々努力していきたいです。今後ともよろしくお願い致します。

「認定試験を振り返って」 帯広厚生病院 佐藤 佑香

私は昨年度の試験では不合格となりましたが、今年度は無事に合格することができました。新型コロナウイルス感染拡大のため勉強会が中止となり、モチベーションを上げることや自分の力を確認することに苦戦した一年間でした。そんな中、指導、応援、Web勉強会の開催をして下さったお陰でここまで来ることができました。貴重な時間を割いて支えて頂いた自施設・他施設の皆様に感謝申し上げます。早く一人前の細胞検査士として貢献できるよう、合格したことに満足せず日々努力していきたいと思ひます。これからもお世話になることが多いと思ひますが、宜しくお願い致します。

「認定試験を終えて」 北海道対がん協会札幌がん検診センター 高橋 葉奈

日常の業務と並行しながらの試験勉強は、想像していたよりも大変でした。私にとって認定試験合格は以前からの目標であったため、合格を知ったときの喜びは非常に大きなものでした。お忙しい中ご指導いただいた自施設・他施設の皆様に心より感謝申し上げます。また新型コロナウイルスの影響で現地開催が難しい中で、オンラインでの勉強会や模擬試験を企画してくださった技師会の皆様、貴重な機会をいただきありがとうございました。ようやく細胞検査士としてスタートラインに立つことができました。これから多くの経験を積み、努力をして、精進していきたいと思っております。

* 試験に合格してまだご連絡いただけていない方がいらっしゃいましたらご一報お願い致します。

★ 2021年度 北海道細胞検査士会 活動報告

◎ 総務関係

- 1) 会報発行 : せるさいくる発行 2022年1月に発行(本号)
- 2) ホームページ事業 : ホームページの適宜更新

◎ 学術関係

- 1) 第29回プレパレートサーベイの実施(現在回覧中)
- 2) 細胞検査士模擬試験講習会① 2021年10月4日～10月30日 Web形式で実施

◎ 第41回北海道臨床細胞学会並びに学術集会

昨年11月28日、第41回北海道臨床細胞学会並びに学術集会が Web にて開催されました。特別講演は、横浜市立大学医学部産婦人科 宮城 悦子 先生に「日本の子宮頸がん検診はどこに着地するのか? ～国内外の情勢から探る～」と題してご講演をいただきました。教育講演では、北海道大学大学院 保健科学研究所 保健科学部門 創成看護学分野 蝦名 康彦 先生に「大学生の子宮頸がん予防に対する意識と健康教育としての対応」、北海道対がん協会 札幌がん検診センター 岡元 一平 先生に「子宮がん検診 -北海道の現状と近未来に向けて-」、札幌医科大学 産婦人科 石岡 伸一 先生に「妊婦に対する Cervex ブラシを用いた子宮頸部細胞診は、腔内感染の原因となるか?」と題して3名の先生方にご講演していただきました。初の Web 開催となりましたが、多くの会員の皆様にご参加いただき盛会のうちに終了致しました。

◎ 今後の予定

北海道 : **わかばセミナー、細胞診従事者講習会 開催中止**

全国 : 第63回日本臨床細胞学会総会春期大会 2022年6月10日～6月12日 東京都
第61回日本臨床細胞学会秋期大会 2022年11月5日～11月6日 宮城県
第64回日本臨床細胞学会総会春期大会 2023年6月9日～6月11日 愛知県
第62回日本臨床細胞学会秋期大会 2023年11月4日～11月5日 福岡県

<編集後記>

COVID-19 感染症が流行して 2 年になろうとしています。仕事や生活スタイルが様変わりし Web を使用する機会が増え気軽な反面、目や肩こりがひどくなった気がしています。昨年とは異なり、年末年始は徐々に親戚や家族で集まり楽しいお正月を過ごされた方もいらっしゃるでしょうか? ワクチン接種も 3 回目が始まっていますが、オミクロン株による感染患者の増加傾向です。まだまだ、油断を許さない状況が続きそうですが、感染対策と体調管理には十分留意し会員皆様にとって昨年よりよい一年になることを祈念申し上げます。

今年度こそは対面での事業が実施でき、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

今後も、研修会等の情報を積極的にホームページやメーリングリストを活用し、会員の皆様に随時お伝えできればと思っております。今後も皆様のご支援と、会の活動にご協力をお願い致します。(総務 椎名)